



福島県原水協 Fax ニュース

がんばっぺ
福島

2011年3月25日(金) 福島県原水協 福島市舟場町3-26 青年会館内 Tel. 024-522-6519

二本松市で「放射線と健康について」の講演会 浪江町民と一緒に！

3月23日午後7:00から岩代総合文化ホールで、わたり病院の齋藤 紀^{おさむ}先生による講演会が二本松市主催で行われました。テーマは「放射線と健康について」。この講演会には二本松市に避難をしている浪江町の方たちも参加したそうです。

須賀川市の生産者が自殺に追い込まれる！摂取制限の報道の後

24日朝、須賀川市の農家の方が自ら命を絶つという痛ましい事件がありました。前日までにレタスの出荷準備をすべて終えたところで、摂取制限のニュースを聞き大変落ち込んでいたそうです。一生懸命頑張っている人をここまで追い詰めた原発事故の責任は重大です。心よりお悔やみ申し上げます。

川俣町議会、飯館村議会 全会一致で意見書

川俣町は22日、「すべての農畜産物に対する所得を補償すること」「福島県のすべての原子力発電所を廃止すること」など5項目にわたる政府への意見書を全会一致で採択。また、飯館村では「緊急災害対策を求める意見書」を全会一致で採択しました。特に川俣町では議長名で東京電力への抗議文も採択しました。その中では放射能汚染事故に対しての強い怒りと、農家や中小企業への救済措置、放射能問題の専門家の常駐化、緊急事態における万全の対策を強く求めています。

「ふくしま復興共同センター」が発足！

24日、「東日本大震災・原発事故被害の救援・復興めざす福島県共同センター」が発足会議を開きました。(参加団体：県労連、医労連、県立高教組、生協労連、農協労連、建交労、年金者組合、新婦人、福商連、県生連、農民連、民青、民医連、救援会、共産党、県議団、保険医協会、平和委員会、原水協)

共同センターでは被災者や避難民の救援活動、地域ごとのセンター作りの援助などを中心に、ボランティアの組織、支援物資の物流センターの運営などに取り組みます。会議には、全労連の中山益則常任幹事が参加。連帯の挨拶と、全国災対連(災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会)の活動を紹介し、阪神・淡路大震災、中越地震などでのボランティア活動や支援物資の物流についての経験をお話しされました。今回の大震災では、地震被害の上に津波、原発事故が重なるという、かつて日本が経験したことのない大災害であることを踏まえ皆さん一丸となって頑張りましょう！

事務局は県労連(024-522-3097)

「放射線」の学習会

とき：3月30日(水) 18:30～

会場：建交労福島農林支部 2階(福島市渡利字岩崎町39-9 Tel.024-521-2810)

講師：矢ヶ崎 克馬氏(琉球大学名誉教授)

(矢ヶ崎氏：2003年より原爆症認定集団訴訟で「内部被爆」について証言を行う。理学博士)

主催：ふくしま復興共同センター

呼びかけ団体…原水爆禁止福島県協議会・福島地方労連